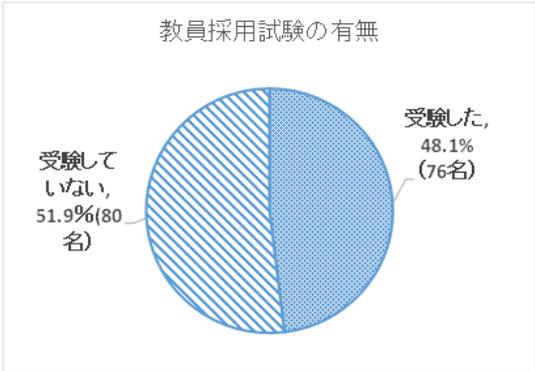


学生調査 4年生対象アンケート 結果

<基本情報>

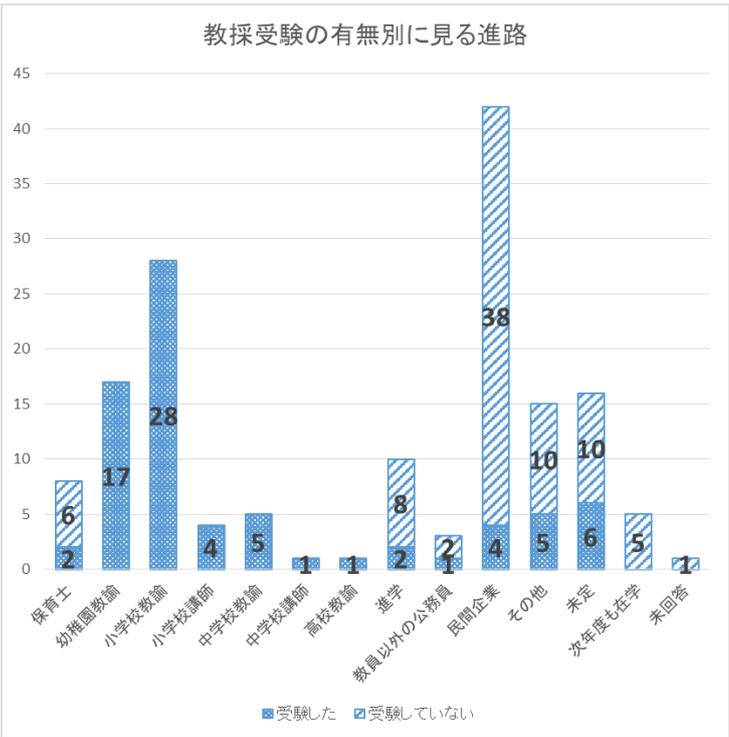
- ①有効回答数：156名（うち教員採用試験 受験者 76名）
- ②進路： 最多が民間企業(42名)、次いで小学校教諭(28名)。
- ※ 昨年度と比較して有効回答数が増加(昨年度:111名)しているためでもあるが、増加が大きかったのは、民間就職(前年度+13)、幼稚園教諭(+11)、未定(+10)であった。



	人数	(昨年度)	パーセント
民間企業	42	(29)	26.9
小学校教諭	28	(27)	17.9
幼稚園教諭	17	(6)	10.9
未定	16	(6)	10.3
その他※	15	(12)	9.6
進学	10	(8)	6.4
保育士	8	(4)	5.1
中学校教諭	5	(2)	3.2
次年度も在学	5	(3)	3.2
小学校講師	4	(9)	2.6
教員以外の公務員	3	(1)	1.9
中学校講師	1	(3)	.6
高校教諭	1	(0)	.6
未回答	1	(1)	.6
合計	156	(111)	

※その他の記述には、
 社会福祉法人(2名)、カレッジ進学、講師登録済、自衛隊、留学、
 小学校特別支援学級専門員、美容部員、産休代替教諭(小学校)、
 団体職員、本部職員、俳優

・教採受験の有無別に進路を見ると、民間企業に進む学生は、教採試験を受験していない学生が圧倒的に多かった。また、進路未定の学生は、教採試験受験者が6名、受験していない者が10名の内訳であり、教採受験の有無に関わらず、支援が必要であると思われる。



<進路についての振り返り>

①希望の進路と納得感

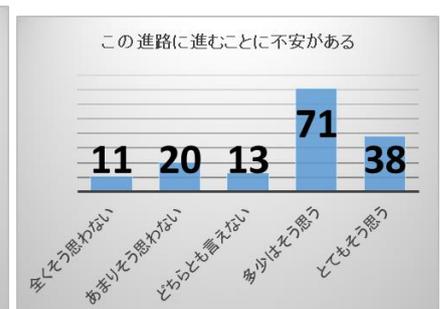
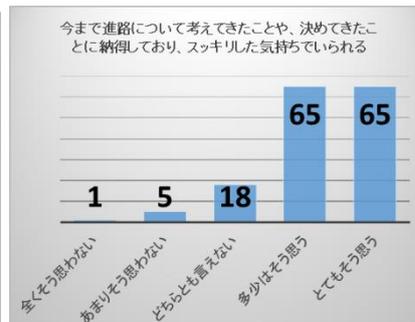
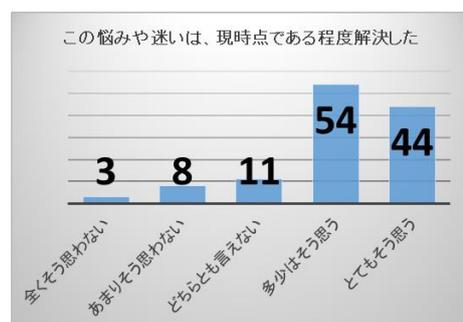
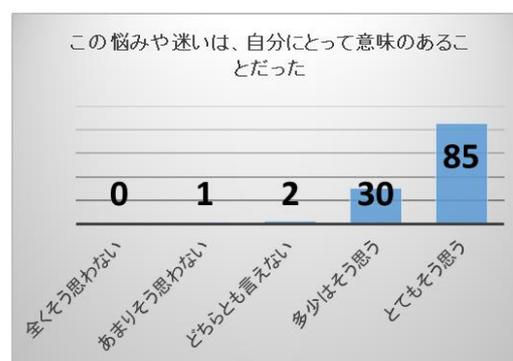
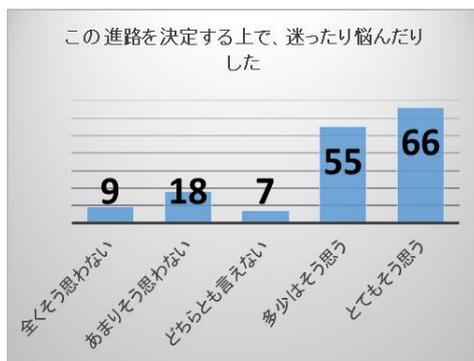
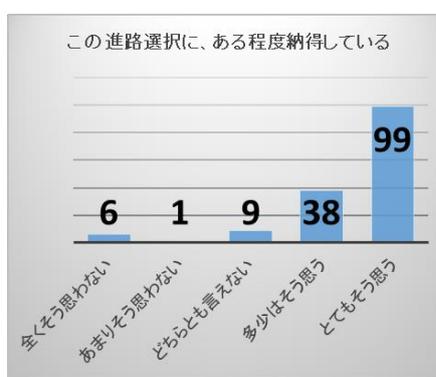
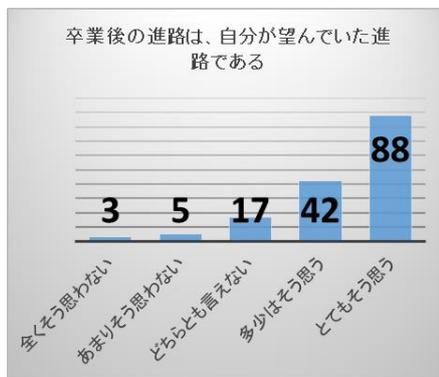
「卒業後の進路は、自分が望んでいた進路である」「この進路選択に、ある程度納得している」においては、8割を超える学生が「とてもそう思う」「多少はそう思う」を回答しており、多くの学生が望んだ進路に進めており、納得をしていた。

②進路決定における悩みと意味づけ

「この進路を決定する上で、迷ったり悩んだりした」では、8割弱の学生が「とてもそう思う」「多少はそう思う」と回答していた。また悩んだ学生の大多数は「この悩みや迷いは自分にとって意味のあることだった」と肯定的に意味づけていた。

③悩みの解決度とスッキリ感と不安

「この悩みや不安は、現時点である程度解決した」には、悩んだと答えた学生の約6割が「とてもそう思う」「多少はそう思う」と回答していた。また相関分析の結果、「この悩み不安は、現時点である程度解決した」と「今まで進路について考えてきたことや、決めてきたことに納得しており、スッキリした気持ちでいられる」との間には、中程度の有意な正の相関($r=0.666$)があり、「この進路に進むことに不安がある」との間には、中程度の有意な負の相関($r=-0.403$)が見られた。進路選択の上で悩みや不安があっても、それをある程度解決出来れば、納得感が得られ、不安も和らぐと考えられた。



＜有効だったサポートの種類＞

「迷ったり悩んだりした際に、役に立ったと思うサポート(複数回答可)」で最も多く挙げられたのが、「先輩」「同じ進路を目指す友人」「家族」という、学生自身が持つインフォーマルな人的資源であった。また次いで「ゼミ担当教員」も多くの学生が役立ったと認識しており、日常的支援者であるゼミ教員の役割の大きさが示されている。

	人数
先輩(OB・OG含む)	69
同じ進路を目指す友人	68
家族	62
ゼミ担当教員	57
教職キャリアセンター	47
異なる進路を目指す友人	41
インターネット	39
キャリアセンター	37
教員(ゼミ担当以外)	19
学生相談室	17
その他 ※	11
大学職員	8
特になし	0

＜進路決定後の不安＞

「この進路に進むにあたり、不安に思うこと(複数回答可)」においては、上位に「その仕事をこなせるか」「対人関係がうまくいくか」「自分がその仕事に向いているか」が挙げられた。一方で、「経済的にやっていけるか」「勤務条件や待遇」「仕事の安定性」は、さほど多く選ばれなかった。いわゆる雇用の問題における不安よりも、仕事内容や現場における不安を抱きやすい傾向にあることが示唆された。

まだ仕事が始まる前に、仕事に関する不安を抱くのは当然のことでもあると思われる。また仕事を開始してからは、雇用関連の問題が生じる場合もあると考えられるため、学生に予備知識として、雇用関連の問題が生じた際に相談すべき窓口など対処法を伝えておくことも大事であると思われる。

	人数
その仕事をこなせるか	89
対人関係がうまくいくか	62
自分がその仕事に向いているか	61
仕事と私生活のバランス	55
生活環境の変化に適応できるか	46
健康面	40
経済的にやっていけるか	25
勤務条件や待遇	24
仕事の安定性	13
その他	8
特になし	6